

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	青葉台さくら苑	施設番号	K-183
-----	---------	------	-------

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和4年度)	改善計画 (令和4年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和5年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定があつた場合の実施状況 (年4月30日時点)
介護福祉施設を取り巻く社会的環境整備について	令和元年、経営層を一新し、経営危機に陥った要因を分析、提携関係を結んだ姉妹施設からの人的支援を求めて、経営層の強いリーダーシップの下、全職員の意識改革と連携・協力によって3年計画の事業改善計画を2年間で達成した。この成果を生きた経営学のモデルとして業界内外各層に公開し、業界の健全な発展のために指導的役割を果たされることを期待されている。	東京都社会福祉協議会主催の高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉 in 東京'22」において、施設職員が「事業再生」について発表した	1 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
家族との関係について	コロナ禍において広報誌やほぼ毎日更新する SNS、生活相談課からのお便り等を通して、日常生活の様子を積極的に伝えている。面会は、アクリル板越しに対面する機会やオンライン面会の機会を確保するなどした。だが家族アンケートでは「日常生活の様子について問い合わせなくても知らせてほしい」「不満や要望を伝える機会がない」等、個別の連絡を求める声がある	・面会時のアクリル板を撤去した。 ・面会時に、ご本人の様子を現場職員が直接ご家族へ伝えるようにした。	1 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
入居者のケアについて	一般職員の中には昨年度入職など経験が浅く成長の余地が大きい職員も少なくない。施設長は、介護職員の「目くばり、気くばり、心くばり」にばらつきがあることが課題であるとの認識がある。介護技術、コミュニケーション能力、レクリエーションの企画力など、介護職に必要な能力を向上し、利用者の生活支援や提供する介護の質の均てん化をはかりたい。	・WEB を活用して全員参加の研修を実施するようにした ・研修の回数も今までの3 倍程度実施するようにした	1 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。